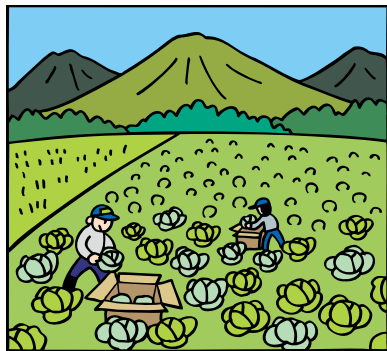




▲農業の担い手づくりは重要課題の一つ

「田原市行政改革推進研究会」に依頼しました。研究会から、今回対象とした4つの事務事業について、「現行どおり」「要改善」「廃止」の区分で評価をいただき、あわせて意見や改善点などの指摘を受けました。

田原市でも、市民の視点から事務事業の評価を行い、行政評価の客観性の確保と、行政の透明化を高めるため、外部評価を試行しました。

外部評価とは、第三者の視点から、行政が実施する行政評価について評価を受ける仕組みです。行政自身では気付きにくい課題、事業の必要性や効果に関する意見、事業の改善に関する提案や考え方をいただくためのものです。

外部評価を試行しました

特定健康保険の充実	
外部評価結果	・現行どおり:3 ・要改善:2 ・廃止:0
意見・改善点	- 重症化予防対策は不可欠だが、検診の必要性に対する市民の意識はまだ高いとはいえないため、市民団体や関係機関などとの協働による周知の徹底で、受診率の向上を図る必要がある。 - 市民意識を正確に把握するためのアンケート調査は、学校・自治会・老人会・企業などとの協働により行う必要がある。
対応の方向性 (保険年金課)	- 農協や商工会との協働により、チラシ配布や健康講座を開催するとともに、農協婦人部を介して男性農業者の受診率の向上を図ります。また、現在、市の保健師が行っている特定保健指導について、病院の医師などから受けられる体制を検討します。 - アンケート調査の実施については、保険証の交付時期に合わせて、各団体などとの協働により実施します。

里山保全推進事業	
外部評価結果	・現行どおり:5 ・要改善:0 ・廃止:0
意見・改善点	- 里山保全は持続的な取り組みであり、多くの市民に関心を持ってもらい参加してもらうことが重要である。 - ボランティアだけでなく一般市民が里山と関わる仕組みについて検討するとともに、里山保全の必要性について情報発信が必要である。
対応の方向性 (まちづくり推進課)	- 多くの市民が、里山の現状と保全の必要性を理解し、里山保全活動への参加者が増加するよう、短期開催型の自然観察会や体験教室などを開催します。 - 里山保全活動の活性化や継続のため、リーダー育成や情報交換の場として、里山保全アドバイザースキルアップ講座の充実を図ります。

新エネルギー導入支援事業	
外部評価結果	・現行どおり:2 ・要改善:3 ・廃止:0
意見・改善点	- 設備のライフサイクルを考慮し、トータルで環境負荷が少ないエネルギーや手法などの情報収集に努める必要がある。 - エコエネルギー導入促進のための適切なPRを行う必要がある。
対応の方向性 (エコエネ推進室)	- 田原市における新エネルギーなどへの取り組みが高く評価されており、平成21年6月に、全国の「新エネ百選」に選定されています。 - 今後も、エコフェスタや出前講座などを活用し、最新の情報を提供しながら、エコエネルギー導入促進のために、市民へのPRを進めます。

担い手団体育成支援事業	
外部評価結果	・現行どおり:2 ・要改善:3 ・廃止:0
意見・改善点	- 農業担い手の育成は不可欠であるが、事業の成果が見えない。 - 農家同士の情報共有による生産性の向上だけでなく、農業従事者が主体的に他事業や異業種との連携を図ることで、もうかり魅力ある農業にするための協力が必要である。 - 現状の手法で農業の活性化が見込めないのであれば、新規農業従事者や農業法人など、外部からの新規営農者を呼び込み、育成するシステムを検討すべき。
対応の方向性 (農政課)	- 農業の担い手の資質向上を図るため、適切な成果指標を検討するとともに、儲かり魅力のある農業を実践するために、農業者自らが実施する研修や後継者づくりなどへの支援を検討します。 - 農業への新規参入については、農家要件の取得や初期投資など多くの課題があるものの、耕作放棄地再生対策も念頭におきながら、前向きに検討します。

行政評価の詳細は市ホームページで閲覧できます。 <http://www.city.tahara.aichi.jp/gyouseihyouka/>